

令和 8 年度
岩手県立沼宮内高等学校第 1 回学校運営協議会
議事録

1 日時

令和 8 年 6 月 10 日（水）15：35～16：50

2 会場

沼宮内高校会議室

3 出席者

19 名（欠席 3 名）

4 次第

(1) 開会（副校長）

(2) 会長あいさつ

- ・横坂校長先生が戻ってきてくれたこと嬉しく心強く思います。沼高生の頑張り、生徒が前にでて積極的に活動に関わっている姿を拝見し、ますますの活躍を期待し協力していきたいと思います。

(3) 校長あいさつ

- ・今年度 198 日間授業があり、ちょうど前期中間考査が終わり 53 日間の前期末スタートします。
今日は探究の時間を見ていただきました。転入生 1 名も加わり、73 名となりました。

(4) 参加者自己紹介

(5) 協議

ア 学校概況説明

- ・副校長より P 2～5 を中心に説明
- ・P1、訂正：2 年生に 6 月 10 日より転入生 1 名追加
 - (1) 在籍数 2 年男子 13 名→14 名、2 年合計 21 名→22 名、総計 72 名→73 名
 - (2) 出身中学校 沼宮内中 2 年 7 名→8 名、岩手町内小計 13 名→14 名、
2 年合計 21 名→22 名、総計 72 名→73 名
 - (3) 2 年その他 5 名→6 名、2 年合計 21 名→22 名、総合計 72 名→73 名
 - (4) 5～10Km 13 名→14 名、 総合計 72 名→73 名
 - (5) 世帯数 70 世帯→71 世帯

・県外生徒内訳

- 1 年：青森 1、栃木 1、東京 1、大阪 1
- 2 年：秋田 2、山梨 1、神奈川 1

・寮生：上記 8 名+1 名（葛巻）、合計 9 名

・P2、進路状況 資料のとおり

・P3、3 生徒会(3)の無所属 2 年男子 0 名→1 名

イ 令和 8 年度学校経営計画、重点目標について

・校長より P 6 学校運営計画についての説明

・直近三年間で 7 名の教職員減

目標 4 の（1）を念頭に置いた学校経営を行い、進路実績を積み重ね、岩手町内外の中学生の獲

得を目指したい。

- ・総務：4/30PTA 総会 高橋 PTA 会長→下田新 PTA 会長。9名の参加は、保護者全体の1割に過ぎず、どうしたら足を運んでいただけるか、小規模ならではのありかたについて検討を要する。県北 PTA 連合会会議でも同じように各校課題が多く書面決議に移行する学校もある。

全体避難訓練のほか1学年防災学習を3段階で実施

- ・教務：学力向上、3年間で社会にでていける力を目指す。学校設定科目、家庭科の消費生活基礎の設定。スタディサプリのアプリを全学年利用。公営塾は大学生にも来てサポートしてもらい考査前は特に利用多数あった。オープンスクール、中学生参加型授業が評判良い。今年度の入学者増につながった要因のひとつと考えるため今年度も続けたい。
- ・生徒指導：「健全育成講話」を開催し自転車の交通違反についてもお話いただく。ヘルメットの着用率がまだ低く、県内の着用義務もあり指導進めたい。ボランティアへの参加を促し地域貢献したい。日ごろから情報共有を図り生徒が安心して生活できる活動を目指す。
- ・進路指導：キャリア教育について地元の企業の協力を感謝。資格補助ありがたい。公営塾はかなりの生徒が参加し、少しずつ効果が出ることを期待。進路情報はハローワーク、各企業の求人票、今年度より生徒のスマホから全国の求人情報がわかるようになり、保護者と一緒に閲覧可能となる。3学年については進路達成に向けて頑張らせたい。
- ・事務：適正な財務事務の執行。施設設備の適切な維持管理

ウ 令和7年度事業取組及び令和8年度事業予定について

- ・校長：2情報発信 様々な種類の発信方法、頻度の点で熱心に取り組む。
4公営塾 一番多い時22名、少ない時9名、悩み、進路相談も含め幅広い指導を行う。
7中学校訪問 6月に岩手町近郊25校、東北3校、合わせて28校の中学校訪問を計画。
☆フリースポーツ部26名、ホッケー部21名より多く、気の合う仲間と楽しみたいという今の沼高生にマッチしていると感じる。

P R動画ショートバージョン鑑賞

エ その他（各委員から）

佐藤教育長：ゴルフ授業を盛岡市の施設で行っているのはなぜか？

→ 体育科 岩手町ゴルフ協会も高齢化で対応が難しいため。

→ 佐藤教育長 もっと別の形でもよいのでは？違うものに検討もありかと。

久保委員：運営委員をとおして、高校生と触れ合う機会が多くなった。生徒は一生懸命取り組んでおり、トークフォークダンスに参加した際は学校生活について、明るく、のびのび、楽しいという声が聞こえた。日々行事が多数あり、学校と地域の関わりから生徒は良いほうに吸収してほしい、協力していきたい。

上澤委員：教育委員会からお願い、沼高魅力化は何をやっているのか？町民への発信に工夫が必要だ。Webや動画だけではなく、紙媒体や実際の声を町民に届けてほしい。

田村委員：公営塾を見学し大学生にも良い刺激となり自分のスキルアップにつながる。

ゴルフ授業は沼宮内カントリークラブが今年で終了したため将来的に違う方向を検討すべき。予算も少ない。

宮田委員：8P教務4(4)トランシーバーの活用について説明いただきたい。

→ 教務課 単独クラスのため試験監督の連絡用に活用

→ 宮田委員 学校の特色についての各種事業について、何を進めていくべきか、改変していくか、それぞれを熟成させていく時期になっている。情報発信も含め、県内外に発信していくべき。

藤原委員：今年度の入学者数増、今までの取り組みが実る。高校に対する地域の人たちの感じ方が変わってきている。

沼宮内中校長：人とのコミュニケーションが苦手な生徒も入学後、違う中学校の生徒と友達になって成長を感じる。沼高生は素直であいさつなど、人としての基本的な部分をしっかり指導していただいてる。中学校としてもがんばりたい。

高橋委員：公営塾大学生4名の様子を見学したい。R7年度PTA会長だったがPTA活動に参加する保護者は数名なのが現実。行事と抱きあわせるなど保護者にもっと学校に入ってきてもらい、良い部分に気づくきっかけにして欲しい。

佐々木同窓会会長：1年生が増えたのは県外などへのPR活動のおかげで感謝している。80周年を控え、さらなる発展のための人員確保、地元、特に川口からもっと入学して欲しい。

熊谷委員：PR動画、ふるさと会でも好評。県外から来た生徒の成長もうれしい。入学前、民泊に一週間滞在した生徒もいる。新幹線ですぐ来れるメリットを感じる。

河井委員：授業を参観して子供たちのニーズに合わせた授業の進め方、教科名も変わっていることに驚いた。人権擁護委員として近年は何かあった際、大人でも相談する人がいない。そのため我慢を重ね4月や週初めに相談にくる人多い。小さい頃のいじめや不登校が原因で引きこもりとなっている大人が多数いるため、小さいころから何かが起きた時の早めの対処が必要

(6) その他

- ・学校情報発信について (別紙)
- ・今年度より運営委員会は2回を予定 第2回 2月頃予定

(7) 閉会(副校長)